

薬局小委員会 議事録

日時 令和元年 12月17日 火曜日 13時から13時45分

場所 慶応義塾大学薬学部 マルチメディア講堂控室

出席者：草野朋子（茨城県薬剤師会） 田中友和（栃木県薬剤師会）

田島敬一（埼玉県薬剤師会） 杉山宏之（千葉県薬剤師会）

田極淳一（東京都薬剤師会） 五十嵐央（新潟県薬剤師会）

仲澤きよ美（山梨県薬剤師会） 高田弘子（長野県薬剤師会）

原正朝（日本保険薬局協会）

欠席者：高橋良徳（群馬県薬剤師会） 久保田充明（神奈川県薬剤師会）

協議事項

1. トラブルが発生した薬局に対してのアプローチの件

大学から改善要望が出ている受入れ先、トラブルが続く受入れ先についてどのように介入していくのかを検討。学生との相性の部分もあるが、続くようであれば、指摘するのではなく一緒に考えていく方向で改善を促す。

2. 実習先希望による受け入れ薬局の偏りの件

学生希望は都市部、交通の便が良いところに集中している。新たな受入れ先を準備しても、学生エントリーがないために指導薬剤師が活躍できない例もあり。

施設概要書備考欄に受入れ先の特色を記載して学生が選択しやすいように改善する。

パソコン上で見たときに備考欄がすべて表示されない現状あり。

割振り時に学生の希望リストどおりに割り振ると実習先の偏りが改善されないため、学生の希望をどこまで通すかの判断及び、施設概要書備考欄のフォーマット変更を総会で要望することとした。

3. 障害を持つ学生の対応と、実習先スタッフケアの件

障害を持つ学生を受け入れ、実習を行う間に、指導薬剤師側が疲弊してしまう例があった。実習先の薬局スタッフのケアについて各県の対応を共有した。

大学との密な連携がいつも以上に必要になること、また事前に大学から受入れ先に情報が欲しいことを総会で要望することとした。

4. 学生エントリー用紙の備考欄活用の件

学生の実習先を決定した後に、以前アルバイトしていた、親族が同じ薬局にいる等の情報が分かり、再度割振りを行う事があり。作業負担の面からも、学生エントリー用紙備考欄に記載してもらうように総会で要望することとした。

(文責 田中友和)